

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2394000067		
法人名	医療法人 誠淳会		
事業所名	グループホーム 新城作手の家(1号館)		
所在地	愛知県新城市作手田原道上17-1		
自己評価作成日	令和1年9月15日	評価結果市町村受理日	令和元年10月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2394000067-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2019_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2394000067-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
聞き取り調査日	令和1年9月27日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

その人らしく、生き生きと。をモットーに生活していただけるようにしていきます。出来る事はできるだけ自身の力でして頂く。食器ふきや、洗濯干しなど簡単な物から趣味、畑仕事など、以前からされていたことの継続を大切に、職員は常に側で寄り添い、見守り業務をするように心掛けています。また自然の環境が豊かなので、散歩中に花を摘んだり、外出などを通じて季節感を感じて頂けるようにしています。地域のとの交流として弘法様の縁日、共育の日の行事参加や小学校の学習発表会など、地区のイベントなどにもできるだけ参加させて頂いて地域との交流をもっています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

◎軽減要件適用事業所  
 今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。  
 ①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」  
 ②軽減要件確認票  
 ③目標達成計画

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所や、通信などに理念目標を掲げいつでも目に触れるようにしている。環境は最大の介護用品であるの言葉通り自然を生かした生活や地域の人々と交流をしています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の行事・祭礼学校行事の参加を通じ交流を図ったり、日常生活では散歩などを通じて交流できるようにしています。ボランティアの受け入れや学生の職場体験など機会を持っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事など参加交流することで認知症に対する理解を深めてもらい必要時には相談やアドバイス、情報の提供をしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議での情報や話し合いは書面で報告し、職員会議、申し送りなどを活用、意見を求めることはサービスに反映させています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議のやりとりは必ず報告をし、市の担当者ほか、相談アドバイスを頂いています 事業所の実情や取り組みも意見を取り入れ改善しています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	4か月に1度は身体拘束に関する検討会を行っています。その他、社内研修を定期的実施、身体拘束をしないケアを常に念頭において業務、カンファレンスを実施している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修をおこない、朝礼文による注意喚起の促し、虐待に関するアンケートの実施などを通じて、不適切な介助が発生しないよう知識の取得と実践に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について社内での研修で学び、成年後見制度利用者の状況からその対応についての理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時契約に基づきキーパソン(家人)に説明、及び質疑対応し、納得されたうえで契約しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時や電話など意見や要望などないか声かけしています。また何気ない会話やコミュニケーションなどから意見や要望を聞き取るように努めています。玄関には意見箱の設置もしています。聞き取った内容は、周知し出来る限り対応しています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議を行い意見や提案を検討。業務に反映させています。提案については申し送り帳を活用し、周知、変更などを行っています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員実績のや労働時間など勤務状況を把握し給与、賞与に反映させています。職場環境についての疑問や不満については、介護勤務疑問110番を設置し環境の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	それぞれの能力に合わせ事業所、本部、研修を受ける機会を設けている。外部の研修の対象者に個別に受講内容を提示している。研修時はできるだけサポートと体制をとっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者会議、市の情報交換会、他施設の推進会議に出席している。系列内の他のグループホームとの交流があり、活動の報告、情報交換などができている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	何気ない会話や、日々の様子を観察しながら、また散歩、入浴などマンツーマンになった時など会話の時間を持つことで、親しみをもって頂き話しやすい状態を作り声をかけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談、面談、契約時にご家族や本人からの情報をいただき、聞き取りを記録として残りフェイスシートの作成や、ケアプランに反映させています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前からの家族、関係者などから聞き取り、面接や入居時の様子など、職員やケアマネージャーなどと情報を共有し、話し合いサービスに反映させています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活での簡単な作業や身の事など、出来る事は自身でして頂くことを念頭に、職員とご本人が協力し生活できるようにしています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や、折に触れての報告や連絡などを通じて、意見やアドバイスを参考にサービスを提供するようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会は、ご本人の都合以外は対応しています。地域の行事や散歩、外出、外泊など可能な限り支援しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で協力し合いながら生活リハビリやレクリエーションを行ったり、職員が仲立ちとなり会話の仲介をしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のご家族に対し、その後の状況把握など折があれば声かけ、支援相談を心掛けています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	大筋はケアプランなどを基に意向を聞き取っているが細かな日々の意向は、会話や生活状況や体調などから汲み取って、職員同士で共有し業務に活かしている、		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の得意な事や暮らし、入居時の生活歴や、家族からの聞き取りを活かし、ご本人の意向に沿ってサービスを提供。様子などは記録し、経過を把握しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録及び詳細記録に状態を記録、職員間の情報などから、日々の状況や心身の状態を把握し能力の維持や、生活のリズムを整えられるよう支援しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング、カンファレンス、医療などの情報とご本人、ご家族の意向をその都度伺い、計画作成に反映させています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録並びに詳細記録に記入、実践や気付きなどは送り帳などを利用し情報を共有し、カンファレンスなどで見なおしを図っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力病院以外の受診は基本ご家族対応となっていますが、都合のつかない時には対応しています		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方を受け入れ、ともに散歩やレクリエーションを行ったり、お祭り、行事に参加できるよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院と連携を図り、定期的に支援しています。専門医や家族希望の病院については、家族様対応となっていますが、日々様子や気づきなどは、口頭や文章で伝えています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携病院への受診の付き添い、体調管理について、連携して情報交換をしています。緊急時にも可能な限り対応しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には出来る限り付き添い、情報を伝えています。医療機関に対し、ケアプランや介護記録の情報を基に、日々の状態や様子を伝え、家族との連絡や相談も行っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りについての話や、終末期の話もしています。本人の在り様から、段階を踏んでその度ごと医療機関と連携しながら本人・家族にとって良い支援ができるようお伝えし、相談し、支援しています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内の研修を定期的に行い、マニュアルに基づき対応しています。マニュアルは目につく事務所内に掲示しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震の避難訓練を年2回実施しています。前年度の台風被害から、防災について常に意識するように心がけ、緊急連絡網を掲示しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内研修を実施し学んだり、アンケートを使い注意喚起を図っています。好ましくない声かけや対応は、その時々職員同士で注意し合えるにしています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる方には、意向をききとり本人の意思を尊重出来るようにしています。自身で無理な方には、できるだけ会話や日々の様子を観察し意思を汲み取るようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムに添った提案はしますが、声をかけ、本人がどうしたいかの自己決定を尊重します。必要時には、時機を見計らって支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意思を尊重し、職員とともに出来る範囲の身だしなみを整えていただきます。入浴時の衣類を選んだり、出張理容を利用したりもしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を実施し好みや希望の把握をしています。食事が楽しめるように、季節の物や、行事食などの提供。その時の体調に合わせた献立の工夫をしています。下膳、食器ふきなどは職員と共に行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配食センターより、バランスを考えた献立が提供できます。個々においては作る職員がその日の時状態を把握し提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	三食後、口腔ケアをしています。出来る方は見守りと確認、出来ない方は職員が介助しています。歯科衛生士の有資格者がいる為、相談することも有ります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄シートを活用し、排泄のリズムをつかんで声かけをしています。尿量や状態にあわせて紙パンツやパッドの使い方を検討し、支援しています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操など、適度な運動と水分摂取を心掛けています。便秘など必要に応じて医療機関と相談しながら便秘薬の服用をしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は週3回の入浴。本人の希望を尊重し入浴をしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望にあわせ、安楽に休息できるようにエアコンを使用するなど快適な空間に気をつけて見守り、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の処方時には必ず指示、内容、を送り帳に記入し、1日づつ仕分け、確認チェックしています。症状の異なる時は速やかに担当医師に相談しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ケアプランの生活歴、家族の話や本人希望などをもとに支援しています。散歩や外気浴、家庭菜園での作業、生け花、コーヒーで一服されたり、職員と会話しながらお手伝いなど本人のペースで取り組まれています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り散歩、や外気浴に出かけています。機会があれば地域行事にも参加しています		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力に応じて自己管理出来る方は、職員が見守り確認しながら自身で管理しています。自己管理出来ない方は、希望時や必要に応じて預かったものから支払っています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には可能な限り支援しています。手紙はポストが近くにならないため職員が代理で投函しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節の花を飾ったり、散歩で摘んだ花をテーブルに活けたりしています。毎月時期に合わせて、レクリエーションで作ったものや塗り絵等を飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファ、掘りごたつ、食堂のテーブル、玄関のベンチ、屋外のベンチなど、自由に過ごせるようにしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはご家族に、本人が使っていたものがあるなら、とお願いしています。家電の持ち込みは自由ですが高価なもの、冷蔵庫は除いています。レクリエーションなどで作った作品を部屋に飾っている方も見えます		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体状況に応じ、安心、安全、安楽を基本に家具を配置しています。トイレの位置が混乱してしまう方には、分かりやすく表示しています		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2394000067		
法人名	医療法人 誠淳会		
事業所名	グループホーム 新城作手の家(2号館)		
所在地	愛知県新城市作手田原道上17-1		
自己評価作成日	令和1年9月15日	評価結果市町村受理日	令和元年10月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2019_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2394000067-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2019_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2394000067-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
聞き取り調査日	令和1年9月27日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

その人らしく、生き生きと。をモットーに生活していただけるようにしていきます。出来る事はできるだけ自身の力でして頂く。食器ふきや、洗濯干しなど簡単な物から趣味、畑仕事など、以前からされていたことの継続を大切に、職員は常に側で寄り添い、見守り業務をするように心掛けています。また自然の環境が豊かなので、散歩中に花を摘んだり、外出などを通じて季節感を感じて頂けるようにしています。地域のとの交流として弘法様の縁日、共育の日の行事参加や小学校の学習発表会など、地区のイベントなどにもできるだけ参加させて頂いて地域との交流をもっています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

◎軽減要件適用事業所  
 今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。  
 ①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」  
 ②軽減要件確認票  
 ③目標達成計画

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所や、通信などに理念目標を掲げいつでも目に触れるようにしている。環境は最大の介護用品であるの言葉通り自然を生かした生活や地域の人々と交流をしています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地区の行事・祭礼学校行事の参加を通じ交流を図ったり、日常生活では散歩などを通じて交流できるようにしています。ボランティアの受け入れや学生の職場体験など機会を持っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事など参加交流することで認知症に対する理解を深めてもらい必要時には相談やアドバイス、情報の提供をしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議での情報や話し合いは書面で報告し、職員会議、申し送りなどを活用、意見を求めることはサービスに反映させています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議のやりとりは必ず報告をし、市の担当者ほか、相談アドバイスを頂いています 事業所の実情や取り組みも意見を取り入れ改善しています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	4か月に1度は身体拘束に関する検討会を行っています。その他、社内研修を定期的実施、身体拘束をしないケアを常に念頭において業務、カンファレンスを実施している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修をおこない、朝礼文による注意喚起の促し、虐待に関するアンケートの実施などを通じて、不適切な介助が発生しないよう知識の取得と実践に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について社内での研修で学び、成年後見制度利用者の状況からその対応についての理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時契約に基づきキーパソン(家人)に説明、及び質疑対応し、納得されたうえで契約しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時や電話など意見や要望などないか声かけしています。また何気ない会話やコミュニケーションなどから意見や要望を聞き取るように努めています。玄関には意見箱の設置もしています。聞き取った内容は、周知し出来る限り対応しています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議を行い意見や提案を検討。業務に反映させています。提案については申し送り帳を活用し、周知、変更などを行っています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員実績のや労働時間など勤務状況を把握し給与、賞与に反映させています。職場環境についての疑問や不満については、介護勤務疑問110番を設置し環境の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	それぞれの能力に合わせ事業所、本部、研修を受ける機会を設けている。外部の研修の対象者に個別に受講内容を提示している。研修時はできるだけサポートと体制をとっている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者会議、市の情報交換会、他施設の推進会議に出席している。系列内の他のグループホームとの交流があり、活動の報告、情報交換などができている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	何気ない会話や、日々の様子を観察しながら、また散歩、入浴などマンツーマンになった時など会話の時間を持つことで、親しみをもって頂き話しやすい状態を作り声をかけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談、面談、契約時にご家族や本人からの情報をいただき、聞き取りを記録として残りフェイスシートの作成や、ケアプランに反映させています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前からの家族、関係者などから聞き取り、面接や入居時の様子など、職員やケアマネージャーなどと情報を共有し、話し合いサービスに反映させています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活での簡単な作業や身の事など、出来る事は自身でして頂くことを念頭に、職員とご本人が協力し生活できるようにしています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や、折に触れての報告や連絡などを通じて、意見やアドバイスを参考にサービスを提供するようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会は、ご本人の都合以外は対応しています。地域の行事や散歩、外出、外泊など可能な限り支援しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で協力し合いながら生活リハビリやレクリエーションを行ったり、職員が仲立ちとなり会話の仲介をしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のご家族に対し、その後の状況把握など折があれば声かけ、支援相談を心掛けています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	大筋はケアプランなどを基に意向を聞き取っているが細かな日々の意向は、会話や生活状況や体調などから汲み取って、職員同士で共有し業務に活かしている、		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の得意な事や暮らし、入居時の生活歴や、家族からの聞き取りを活かし、ご本人の意向に沿ってサービスを提供。様子などは記録し、経過を把握しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録及び詳細記録に状態を記録、職員間の情報などから、日々の状況や心身の状態を把握し能力の維持や、生活のリズムを整えられるよう支援しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング、カンファレンス、医療などの情報とご本人、ご家族の意向をその都度伺い、計画作成に反映させています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録並びに詳細記録に記入、実践や気付きなどは送り帳などを利用し情報を共有し、カンファレンスなどで見なおしを図っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力病院以外の受診は基本ご家族対応となっていますが、都合のつかない時には対応しています		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方を受け入れ、ともに散歩やレクリエーションを行ったり、お祭り、行事に参加できるよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院と連携を図り、定期的に支援しています。専門医や家族希望の病院については、家族様対応となっていますが、日々様子や気づきなどは、口頭や文章で伝えています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携病院への受診の付き添い、体調管理について、連携して情報交換をしています。緊急時にも可能な限り対応しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には出来る限り付き添い、情報を伝えています。医療機関に対し、ケアプランや介護記録の情報を基に、日々の状態や様子を伝え、家族との連絡や相談も行っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りについての話や、終末期の話もしています。本人の在り様から、段階を踏んでその度ごと医療機関と連携しながら本人・家族にとって良い支援ができるようお伝えし、相談し、支援しています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内の研修を定期的に行い、マニュアルに基づき対応しています。マニュアルは目につく事務所内に掲示しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震の避難訓練を年2回実施しています。前年度の台風被害から、防災について常に意識するように心がけ、緊急連絡網を掲示しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内研修を実施し学んだり、アンケートを使い注意喚起を図っています。好ましくない声かけや対応は、その時々職員同士で注意し合えるにしています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる方には、意向をききとり本人の意思を尊重出来るようにしています。自身で無理な方には、できるだけ会話や日々の様子を観察し意思を汲み取るようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムに添った提案はしますが、声をかけ、本人がどうしたいかの自己決定を尊重します。必要時には、時機を見計らって支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意思を尊重し、職員とともに出来る範囲の身だしなみを整えていただきます。入浴時の衣類を選んだり、出張理容を利用したりもしています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を実施し好みや希望の把握をしています。食事が楽しめるように、季節の物や、行事食などの提供。その時の体調に合わせた献立の工夫をしています。下膳、食器ふきなどは職員と共に行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配食センターより、バランスを考えた献立が提供できます。個々においては作る職員がその日の時状態を把握し提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	三食後、口腔ケアをしています。出来る方は見守りと確認、出来ない方は職員が介助しています。歯科衛生士の有資格者がいる為、相談することも有ります		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄シートを活用し、排泄のリズムをつかんで声かけをしています。尿量や状態にあわせて紙パンツやパッドの使い方を検討し、支援しています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操など、適度な運動と水分摂取を心掛けています。便秘など必要に応じて医療機関と相談しながら便秘薬の服用をしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は週3回の入浴。本人の希望を尊重し入浴をしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望にあわせ、安楽に休息できるようにエアコンを使用するなど快適な空間に気をつけて見守り、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の処方時には必ず指示、内容、を送り帳に記入し、1日づつ仕分け、確認チェックしています。症状の異なる時は速やかに担当医師に相談しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ケアプランの生活歴、家族の話や本人希望などをもとに支援しています。散歩や外気浴、家庭菜園での作業、生け花、コーヒーで一服されたり、職員と会話しながらお手伝いなど本人のペースで取り組まれています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	可能な限り散歩、や外気浴に出かけています。機会があれば地域行事にも参加しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力に応じて自己管理出来る方は、職員が見守り確認しながら自身で管理しています。自己管理出来ない方は、希望時や必要に応じて預かったものから支払っています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には可能な限り支援しています。手紙はポストが近くにならないため職員が代理で投函しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節の花を飾ったり、散歩で摘んだ花をテーブルに活けたりしています。毎月時期に合わせて、レクリエーションで作ったものや塗り絵等を飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファ、掘りごたつ、食堂のテーブル、玄関のベンチ、屋外のベンチなど、自由に過ごせるようにしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはご家族に、本人が使っていたものがあるなら、とお願いしています。家電の持ち込みは自由ですが高価なもの、冷蔵庫は除いています。レクリエーションなどで作った作品を部屋に飾っている方も見えます		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体状況に応じ、安心、安全、安楽を基本に家具を配置しています。トイレの位置が混乱してしまう方には、分かりやすく表示しています		